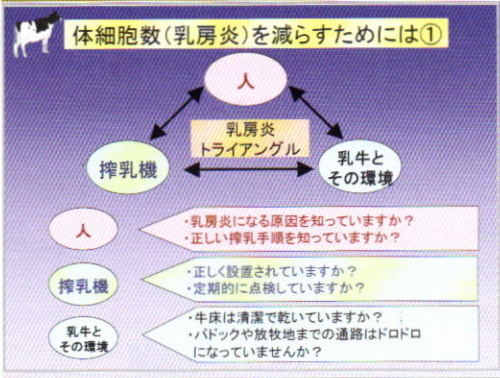


4 体細胞削減に向けて



乳牛の職業病とも呼ばれる乳房炎、その指標となる体細胞数は乳牛の健康のバロメーターです。体細胞数削減のためには毎日の搾乳作業はもちろん、ミルクの状態や乳牛の環境などの改善が必要です。乳牛の能力を発揮させ、効率的な酪農を展開するため、体細胞数の削減が不可欠です。

<主な内容>・体細胞数はどうして増える?

- ・体細胞数を減らすために
- ・モニタリング

Ⅶ 農業経営

1 投資効果チェックシート

次の中から類似する例題を選択し、該当するシートを選んでください。

1 どの投資が良いのか、ふたつの投資を比べてみる 例：牛舎の増築で11万をやるか経産牛を増やしたらいいのか	どんな投資例題	どんな投資試算表
2 整備したい施設や機械に対して、いくらまでの投資が適切か 例：返済出来る元利金は決まっている時、いくらまで投資出来るか	投資の限界例題	投資の限界試算表
3 希望する利益を獲得するために、経産牛を何頭増やせばいいか 例：家計費を1500千円増やしたいが、経産牛を何頭増やせばよいか	利益の追加例題	利益の追加試算表
4 施設や機械の整備によって利益がいくら増加すればいいのか 例：牛舎改造によっていくらの利益が増加すると良いのか	小さな投資例題	小さな投資試算表
5 施設や機械の更新や変更を行う場合、利益がいくらになればいいのか 例：フリーストールシステムを導入したいが、利益がいくらになると良いのか	大きな投資例題	大きな投資試算表
6 目標とする所得を得るには、販売額をどの程度まで増やす必要があるのか 例：農業所得を6,000千円から8,500千円にするには、売上はいくら必要か	損益分岐点例題	損益分岐点試算表
7 償還計画表	償還計画表	
8 年金償還計算表	年金償還計算表	

投資を思い立った時は、まず計算してみましょう。このシートはMicrosoft Excel2000により作成したもので、投資の比較や期待される粗収入などが試算できます。

<主な内容>・投資の比較

- ・返済額による投資可能額は
- ・利益獲得のための増加頭数は
- ・投資により期待される利益は
- ・目標所得のための売り上げは

2 経営診断・経営計画に関するパソコンソフト

収益性が高くゆとりある農業経営を実現するためには、生産技術の向上とともに、経営管理能力の向上が不可欠です。北海道内で普及センターを中心に利用されている経営管理ソフトを収録しました。ソフトはMicrosoft Excelで作成され、簡単な紹介文を添付しています。ソフトを利用してみたい方、新たな経営管理ソフトの開発の参考にしたい方はご利用ください。

ソフト名	経営管理ソフトの概要
クミカン時系列分析	クミカン実績、営農計画、乳検成績により、経営分析とグラフ作成
ドリームプラン98	増殖計画と面積、償却費計算と資金計画、経営収支と資金繰りを計算
大地君	北海道農業経営改善センターの新規就農を志す人の経営計画
夢道場	釧路支庁改良普及員経営部会で作成。別海町がエクセル版に再編

3 地域農業のシステム化を考える

作業の外部委託、組織の育成を考える

- 1 飼料生産(コントラクタ)
- 2 糞尿処理(コントラクタ)
- 3 育成牛の預託(育成センター)
- 4 給与飼料の確保(TMRセンター)

規模拡大傾向が続く中、労働時間の増加、過重労働は依然として解消されていません。今後は、個別経営での省力化、作業の外部委託等の検討が必要でしょう。また、共同作業や共同経営も視野にいれた取り組みも必要です。

<主な内容>・コントラクタ

- ・育成センター
- ・TMRセンター

4 営農支援システム事例



多様化する経営体が不安なく営農を展開できる営農支援システム的一端として、営農展開上労働のしわ寄せを受けやすいほ育・育成牛の管理部門の支援を目的として誕生しました。ほ育・育成牛の管理作業が外部に委託されることにより、構成員個々が抱えているさまざまな課題が解消され、個々の経営方針に沿った経営展開が可能となります。

- <主な内容>
- ・ 預託システムの特徴
 - ・ キャトルステーションの成績
 - ・ 構成員の成果

5 何故法人経営が必要か

法人経営の利点と注意すべき事項

■ 利点	■ 注意すべき事項
<ul style="list-style-type: none"> □ 経営目標・業務分担の明確化 □ 社員への給与支給 □ 社員の目標樹立と経営意識の向上 □ 社員としての自覚向上と研修・休暇計画が容易 □ 規模拡大と分業化 □ 雇用や研修の受け入れが容易 □ 法人決算で社員へ経営内容の明確化（簿記の記帳と法人税の申告） □ コスト計算と再投資への試算 	<ul style="list-style-type: none"> □ リーダーの資質 □ 事務生の配置と資産管理 □ 雇用（人事）管理 □ 両親や後継者の法人参加への合意 □ 参加農家の経営状況（負債償還計画や家計計画の検討） □ 女性の参加と役割 □ 簿記の修得

家族経営の延長での規模拡大は限界に近づいており、今後の農業発展に新たな労働力や組織力が求められています。これを支えるのが法人化です。経営目標の明確化、就業時間、給与、休暇を明文化などにより、経営の効率化、農外からの労働の受け入れが容易になります。

- <主な内容>
- ・ 法人経営とは
 - ・ 現地に学ぶ経営戦略
 - ・ メガファームの可能性
 - ・ メガファームの事例

VIII 農家経営

1 魅力ある農業経営を目指して～家族のルールづくり～

これからの新しい家族農業経営

家族はパートナー経営者

労働報酬と家計の共同分担

農業に従事する家族に配慮した就業条件が整備されている

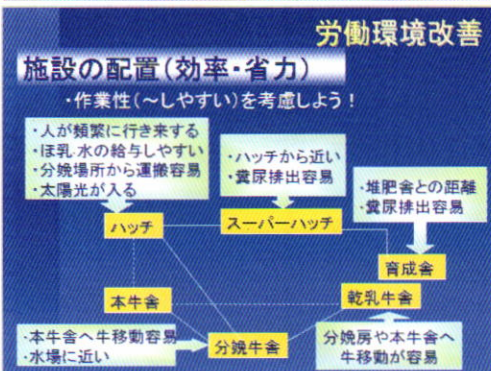
経営への参加と目標を共有している

を目指して、
家族のルール作りをはじめましょう

農業をより魅力あるものとするため、「言わなくてもわかる」から「我が家のルールを明文化」の取り組みが進められています。一家族での農業経営が多いため、改めて文章にしなくても、と思う方も多いと思いますが、1日のスケジュールやもしもの時のことなど一度話し合ってみてはどうでしょうか。

- <主な内容>
- ・ 家族協定とは？
 - ・ 家族協定のきっかけ
 - ・ 家族のルールづくりの流れ
 - ・ 家族のルールづくり実践事例

2 きれいな生産環境づくり 小さなことからコツコツと・・・



生産物を評価する時、生産物そのものだけでなく、生産された環境や生産の過程も評価されるようになってきています。働きやすい生産環境、おいしい生乳を生産する環境の整備が大切です。環境改善は生産性の向上をもたらします。

- <主な内容>
- ・ 根室特有の生産環境
 - ・ 労働環境
 - ・ 畜舎周辺環境
 - ・ 畜舎内環境